

第2学年生活科学学習指導案

日時 平成27年10月21日
場所 体育館
授業者 牧村 妙子

1. 単元名 「地域の人となかよくなるう」 (11時間)

2. 指導について

(1) 単元について

本単元「町探検」では、校区の公民館の活動を見学・体験することを通して、地域の人々と触れ合い、人々や地域に愛着をもつことができると考える。

商店やJA、郵便局など人々が集う場が無い本校区において、唯一集える場が各地区にある会所であり、校区住民全体を対象とする第5公民館である。

各自の家庭、近所の家、集落の会所、うぐいす公園と活動の場を広げてきた児童が、校区全体に視点を広げ、より広い地域の人々と触れ合うことで、関心を深める機会としたい。

日常の出会いだけでは、自分の通学路の見守り隊の方々や地区行事の時に会う方々というように限られた活動・人々としか触れ合えないため、一人一人が、少しでも広い地域へ関心を向ける一助としたいと考える。また、さらにこういった活動を通して、中小校区という地域への愛着を自覚させたい。

(2) 児童の実態

2年生は、男子15名(1名は通級)、女子14名の29名の学級である。見学や体験を通して分かったことや考えたことを積極的に発言しようとする意欲は高く、前単元「町探検にいこう」の学習では、中小校区の公民館活動のうち、グラウンドゴルフ、陶芸教室、大正琴等、その特色について意欲的に表現しようとする姿が見られた。

本単元の始めに、児童に公民館について知っていることを尋ねたところ、「映画を見た。」「料理教室に参加した。」「お母さんが役員会でお話していた。」など、公民館が様々な形で利用されていることを知っている子が多かった。しかし、「どこの、誰が」という視点は殆どなく、漠然とおじさん・おばさんとしか捉えていない。そこで、幾つかの公民館での活動を実際に体験することによって触れ合いを深め、家の近くのおじさん、自分とは違う地区の友達の近くのおばさん、自分のおばあさんの知り合いというように、自分とのつながりを見付け、より地域に愛着をもたせたいと考える。

触れ合いを深めるために、もっとよく知りたい、体験したいという児童の願いを具体的にし、活動の楽しさやおもしろさを深める活動を通して、地域の人々への関心を高めていきたい。

3. 研究主題との関わり

研究内容(1)のAに関わって

単元の導入で、1学期に体験した活動を想起させ、様々な人々と種々の体験をした中から、もう一度体験したい活動を選び、そこで味わった楽しさを伝えるという活動を仕組むことで、地域の人と もっと仲よくなるうという願いをもって活動できる教材を考えた。

研究内容(1)のイに関わって

本時の導入では、地域の方と仲良くなるために仲間が見つけたコツを自分が見つけたコツと比較して聞き合うことができるような発表会にすることを確認する。

研究内容(2)のAに関わって

本単元は、体験活動の時間、体験活動からの気付きを深める時間、発表会に向けて表現を工夫する時間と単位時間ごとの目標を明確にして構成した。特に、体験活動のみに学習が終始しないように、「地域の人と仲良くなるコツを見付ける」という単元を通しての目標を明確にし、同じ活動をしたグループ毎に発表するという活動を仕組み単元指導計画を作成した。

研究内容(2)のイに関わって

発表を聞く人の話型「○○さんと同じで、ぼくもをしたら、～さんと仲よくなりました。」「わたしもをやったけど、○○さんと違って、もっと～するといいと思いました。」などを示し、振り返りの時間を確保する。

研究内容(3)のAに関わって

「地域の人と仲良くなるコツ」を伝えるという目的で発表会を行う。そのため、体験したことの楽しさだけを伝える内容にならないように基本的な話型を示し目的に沿って活動を想起させ、事前の練習時間を確保する。また、聞く人にも発表を聞く視点として「～をすると仲よくなれることが分かりました。」「ぼくと違って、～をすると仲良くなれることが分かりました。」というような話型を示す。

研究内容(3)のイに関わって

全体交流の場で、それぞれの発表会で確認された「なかよくなるコツ」を出し合い、さらに、ひとりひとりの気付きを広めていく。

4. 単元指導計画（全 1 1 時間）

目標	身近な地域に出掛け、地域の人々と関わりをもち、様々な活動を調べたり、利用したりして、それらが自分達の生活を支えていることや楽しくしていることが分かったり、地域に親しみをもち、人々と適切に接して仲良くなったり、安全に気を付けて生活したりすることができる。					視点	イ、身近な人々との接し方 ウ、地域への愛情 エ、公共の意識とマナー カ、情報と交流	
						内容	(4) 公共物や公共施設の利用 (5) 季節の変化と生活 (8) 生活や出来事との交流	
						対象	地域で生活したり働いたりしている人 公共物 公共施設	
時		ねらい	主な学習活動	児童の意識の流れ	気付きの質の高まり	評価規準	指導・援助	
1 2 3	まちのことを話そう	自分のお気に入りの公民館活動があること、知っていることなど、自分と公民館活動との関わりを通して人々のやさしさを紹介する。 紹介し合ったことを通して、もっと仲良くなりたいという願いをもつ。	○ 1 学期に活動した場所や内容を振り返る。 ○ 前回の活動で教えてもらった人にもう一度教えてもらうようお手紙を書く。 ○ 公民館活動の知っていることや人についてみんなに教えてあげたいことを発表する。 ○ 気付いたことやもっと仲よくなれることはないか話し合う。	「公民館での活動で知り合った人ともっと仲良くなりたいな。」 ・ お気に入りの活動をみんなに教えてあげたいな。 ・ 私の知らない人もたくさんあるなあ。 「もっと知り合いたいなあ。やってみようなあ。」 ・ ○ ○ ○ さんの紹介した方法で仲良くなりたいな。 ・ 誰か他にやっている方法があるのかな。	・ 公民館で活動している人は、いろいろな人がいるんだな。 ・ わたしが仲良くなりたい鈴村さんと今より仲良くなるにはどうしたらいいかな。	・ 身近な公民館の活動や人々に関心をもち、見たり、調べたりしようとしている。 【関・意・態】＜発言・カード＞ ・ 自分がこれまでに関わった公民館活動の体験の中から、もう一度体験したいことやもっと知りたいことを友だちと紹介し合っている。 【思考・表現】＜発言・カード＞	・ 仲良くなりたい人に対する願いをもたせる。 ・ お願いのお手紙を書く。 ・ もう一度体験したい活動が見つからない児童には、意図的に選んだ対象の中から選択させる。 ・ 体験したい活動を分類する。 ・ 意図的に取り上げたい活動については、写真を準備する。	
4 5 6					わくわく体験			○ もう一度体験したい活動を交流する。 ○ 活動毎にグループを作り、体験の目標や仲間での約束を考える。 ○ カードに記録する。
7 8 9 10 11 本時	仲良くなれたことを伝えよう	○ グループで体験したことを振り返り、みんなに伝えることを決める。 ○ 内容に適した表現方法を考え、伝えたい内容をまとめ、伝え合う準備をする。 ○ 自分達が新たに発見したことやおもしろさ・楽しさを伝え合い、公民館活動の情報を共有する。	「体験した楽しさ・おもしろさをみんなに知らせたいな。」 ・ 曲が演奏できたときの楽しさを知らせたい。 ・ グラウンドゴルフのボールが思ったように打てるとおもしろいことを知らせたい。 「どんな伝え方がいいかな。どんな準備をするといいかなあ。」 ・ ポスターを作るよ。分かりやすいように絵を描くよ。 ・ 動きを伝えたいからペープサートを作るよ。 「みんなに聞いてもらうのが楽しみなあ。」 「友達の見付けた楽しさ・おもしろさが分かったよ。」	・ 大正琴の細かいところは大きく絵に描きたいよ。 ・ 弾けるようになった「さくらさくら」をみんなの前で弾いてみよう。		・ 体験したことを振り返り、その中から友達に伝えたいことを選び、適切な伝え方で、友達と伝え合っている。 【思考・表現】＜カード・作品・発言＞ ・ 活動には、それぞれの楽しさ・おもしろさがあり、活動している人々は、それが好きだから、また、地域にその活動があるから仲間になっていることに気付いている。 【気付き】＜カード・発表＞	・ 体験したことの中から、伝えたい内容、伝える方法を選択させる。 ・ 伝え方の具体例を紹介し、適切な方法を選択させる。 ・ 『発表のこつ』を提示し、どのような工夫をするのか指導する。 ・ 作品を見せながら発表し、分かったことを知らせる。	

5. 小単元指導計画（仲良くなれたこつを伝えよう5時間）

時	ねらい	学習活動	【評価規準】（評価方法）
7	体験したことを振り返り，その中から友達に伝えたいことを選ぶことができる。	体験したことを思い出す。 体験したことから，仲良くなれたこつを選ぼう。 自分が体験した中から一番伝えたいことをカードに書く。 教えてもらったことを一生懸命にできたらずごくほめてもらえたので、もっとがんばれた。そしたらなかよくなれた。	【思考・表現】 自分が体験したことを振り返り，その中から一番伝えたいことを選ぶことができる。 （カード・作品・発言）
8 9	内容に適した表現方法を考え，伝えたい内容をまとめ，伝え合う準備をする。	前回の発表を参考に，どんな伝え方がいいか考える。 一番伝えたいことを伝えるためにいい方法を考えよう。 グループで発表方法を考え，伝えたい内容をまとめて，準備をする。 ・大正琴の押さえるところや弦を分かりやすくするために大きく絵を描こう。 ・始めや終わりの挨拶をはっきりすると聞きやすい。 ・弾けるようになった「ゆうやけ こやけ」をみんなの前で弾いてみよう。	【思考・表現】 自分が選んだのと同じ活動を選んだグループで，一番伝えたい内容に適した発表方法を考え，発表の準備をする。 （カード・作品・発言）
10 本時	地域の人と仲良くなれたことの発表会をする。	発表の準備をし，自分の目標を確認する。 話し方と話す内容を確認する。 聞き方を確認する。 前半と後半に分かれて発表し合う。 ・自分も体験したとき、同じことで仲良くなれたよ。 ・自分が体験したとき思ったことと、違うやり方で仲良くなれたんだな。	【思考・表現】 自分の伝えたいことを発表し，友達の発表を聞いて自分と同じ・違うところはどこか考える。 （カード・作品・発言）
11	友達の発表を聞き，自分が体験して知ったこと以外にも，地域の人々と仲良くなれるこつがあることに気付くことができる。	発表会を振り返る。 友達の発表を聞いて分かったことや思ったことをまとめよう。 仲良くなるこつが自分と同じ人がいることや地域の人々との触れ合いの楽しさに気付く。 活動や地域の人々との触れ合いの楽しさが分かったよ。	【気付き】 友達の発表を聞いて，自分の知ったこと以外にもこつがあり，地域の身近な人々が仲間になって活動していることに気付く。 （カード・発表）

6. 本時の目標

地域の人ともっと仲良くなれるように いろいろな工夫をして、地域の人々と仲良くなったことを伝えることができる。また、自分の体験をもとに発表を聞き、気付いたことを話することができる。

7. 本時の展開(10 / 11)

段階	ねらい	主な学習活動	指導援助・資料	【 評価規準 】 キーワード
つかむ	本時の課題をつかむことができる。	1. 導入資料から本時の課題を設定する。 ・地域の人と仲良くなるための方法を発表する。 ・体験したことを話することができる。 ・どなたと仲良くなったか話す。 わくわく体験発表会をしよう。 ～ 仲良くなれたことをみんなに伝えよう～	わくわく体験の 写真資料	
学び合う	友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、交流することができる。	2. 班ごとに仲良くなるために考えたこと、それを行った結果どんなに仲良くなったかを発表し、自分の体験と比べて聞き、交流する。 < 大正琴 > 教えてもらったことを一生懸命にやっていたら、いろいろなお話できて仲良くなれた。 < グラウンドゴルフ > 笑顔でルールの説明を聞いたり、できないところを名前を呼んで教えてもらったりしたら仲良くなれた。 < 陶芸 > うまくできない時に「教えてください」と頼んだら「水をもっとつけるといいよ」とやさしく教えてくれて仲良くなれた。 ・○○さんと同じで、一生懸命練習していたら、「じょうずやねえ。」と言ってもらえてとてもうれしかったよ。 ・○○さんと同じで、打ち方が強すぎたけど、名前を呼んで教えてもらったよ。一緒にやってもらってコツが分かったよ。 ・○○さんと違って、教えてもらったときに笑顔で「ありがとう」とお礼を言ったらうれしそうだっただよ。		【 思考・表現 】 仲間の発表から地域の人々とより仲良くなる方法を比べて聞き、気付いたことを話することができる。 「○○さんの発表を聞いて」「自分の体験と比べて」「○○さんと同じで」「○○さんと違って」
		3. 全体交流の場で、仲良くなるコツについて考えを深める。 ・わくわく体験で、自分から分からないことを「教えてください」と言ったら、とても優しく大正琴を教えてもらうことができました。一生懸命練習していると、いろいろなお話することができて、とても仲良くなることができました。だから、仲良くなるコツは、自分から「教えて」と言うことだと思います。 ・わくわく体験で、初めてじゃないので、名前を知っていたから「寺田さん」と名前を呼んだら仲良くなれました。知っている人は名前を呼ぶと仲良くなれると思います。	発表を聞いてより仲良くなれたコツを交流できるようにする。	
振り返る	学習したことをもとにして、課題に対するまとめをすることができる。	4. 学習の振り返りをする。ペア交流をする。 わたしは、発表を聞いて、「○○さん」と名前を呼んだり、「分からないから教えてください」と自分から聞いたりすれば仲良くなれることが分かりました。一生懸命練習しているうちに、いろいろなお話もできて、とてもうれしかったです。仲良くなったので、また、やりたいです。 5. 振り返りカードに記入する。	発言・カード 振り返りの時間を十分確保し、仲良くなれた要因に気付かせる。	「仲良くなるためのひみつは…」 ・名前を呼ぶ ・自分から聞く ・教えてもらったことを一生懸命やる ・笑顔